

出席者写真・官邸会議でのメッセージ

別紙

○高 博子(NOTO高農園)



私自身、農業は全くのゼロからのスタートでしたが、私たちのような全くない状況であっても職業として農業が成り立つことを伝えていきたいと思います。まさに農業は女性の感性を活かせる職業だと思います。私たちが農業を続けていくことが、未来につながる手段であると考えます。農業はやればやるほど奥の深い職業です。女性向けに柔軟な担い手支援の取組をお願いしたいと思います。

○田中 和子(博報堂リーママプロジェクト代表、博報堂マネジメントプランニングディレクター)



私は「共働共育」というキーワードを掲げたいと思います。時間・場所にとらわれず、短期間で最高のパフォーマンスを上げることが働くことだという考えで、長時間労働の是正や学童期までの保育支援の充実、テレワークや再雇用の促進に取り組んでいただきたいです。一緒に育てる、一緒に未来をつくっていくことが私たちの幸せであり、働くお母さんのモチベーションが高まり、昇進への意欲に繋がっていくのだと思います。共働共育の社会づくりを共にお願いします。

○水内 あずみ(主婦)



私には3人の子供がいます。そして、私は保育士の資格を持っていますが、子供が小さいうちは子育てをしたいと考え長女出産に合わせて専業主婦になりました。私の理想は、子育てを大切にしつつ、保育士のパートができる環境です。子供が登校中にパートに出たいのですが、そういった求人は少なく、保育施設もなかなかありません。そこで、子供を連れて勤務できたり、勤務時間に柔軟な働き方ができればと思います。パートをしたいママの支援をお願いします。

○村田 有彩(慶應大学SFC1年 元女子高校生未来会議副代表)



私は将来、男性と同じように働くのではなく、女性の視点を活かして活躍していきたいです。子供を育てながら仕事をしたい私にとって、合計特殊出生率1.41という数字には子育てのしずらさがあるのではと不安を感じます。そこで育児・保育の施設の充実などで安心して子育てのできる社会づくりをお願いしたいと思います。また、高校生や大学生の今から自分たちでも議論を進め、将来、女性である私たちが活躍できるよう活動していきたいと思います。